

<対面形式・オンライン形式> 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設置についての説明会

---

日 時	：	令和5年5月24日(水)	19時00分	～	20時00分
		5月25日(木)	19時00分	～	20時00分
		5月27日(土)	19時00分	～	20時00分
		5月28日(日)	16時00分	～	17時00分

---

会場及び	：	令和5年5月24日(水)	武蔵浦和コミュニティセンター	45名
参加者数	：	5月25日(木)	武蔵浦和コミュニティセンター	44名
		5月27日(土)	さいたま市立沼影小学校 体育館	56名
		5月28日(日)	オンライン開催	105名※

※オンライン開催のため、参加者数は最高同時視聴者数。

---

事務局： 管理部参事、教育政策室長、教育政策室副参事、教育政策室長補佐、  
学事課長、学事課学務係長、学校施設整備課長、学校施設整備課長補佐、  
スポーツ振興課長、スポーツ振興課スポーツ施設係長、  
都市公園課長、都市公園課計画係長

---

資料： 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設置について  
[https://www.city.saitama.jp/003/002/001/p082303\\_d/fil/R5shiryuu.pdf](https://www.city.saitama.jp/003/002/001/p082303_d/fil/R5shiryuu.pdf)

---

- 次 第： 1. 資料に基づき説明
- (1) 義務教育学校制度について
  - (2) 武蔵浦和駅周辺地区が抱える課題について
  - (3) 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設置について
  - (4) 通学区域(案)について
  - (5) 整備スケジュールと代替プールについて
  - (6) 新しい施設及び展開される教育活動について
2. 質疑応答

以下、参加者からの意見・質疑の概要を記す

【説明会の運営、内容について】

- アンケートで質問したら回答があるのかとの質問があった。内容ごとに検討し、お答えできる段階で説明していくと回答した。
- 市長にも声が届くように、説明会の報告をしたり、説明会の概要をHPに挙げたりしてほしいとの意見があった。これまでも、説明会の概要を市長に報告しており、HPにはいただいた主な意見や質問にどのように回答したのか分かるように載せていると回答した。

【検討経緯、方法について】

- 市民、住民の合意はあるのかという質問があった。現状として、市民の皆様から様々な声をいただいております、繰り返し説明をしていくことでご理解をいただけるように努めていくと回答した。
- この計画は、いつ決定したものなのかとの質問があった。令和2年12月の都市経営戦略会議で決定したものであると回答した。

- 小・中学校 1 校ずつの用地確保は困難なのかとの質問があった。小・中学校 1 校ずつ作れる用地取得についても検討を進める中で、民有地も含めた土地の活用にはスケジュールや金額の面、近隣への影響といった条件において、用地取得が不可能であることから、市有地である沼影公園と沼影小学校の土地を一体的に使った本計画に至ったと回答した。
- 昨年度の説明会において、参加者から提出された代案について検討はされたのかとの質問があった。提案された後、教育委員会内で検討したが、低学年の通学距離や通学区域の設定、空き教室数の関係で課題が多かったため、現案のまま事業を進める方向であると回答した。

#### 【通学区域、通学路について】

- 学区や通学路の変更により、通学の危険性が増すことはないのかとの質問があった。通学の安全性については、どの道を通れば安全なのか、どのような安全対策が必要か検討していると回答した。
- 義務教育学校が開校すると、現在浦和大里小に通う 5・6 年生は沼影新校舎に通うことになるので通学時間が増すことになるとの意見があった。5・6 年生の通学時間、距離が増してしまうことは認識しており、安全に通学できるように、例えばゾーン 30 の設定等について検討していると回答した。

#### 【給食、制服等について】

- 沼影新校舎での昼食は、お弁当になるのか、それとも給食なのか。給食の場合、自校式なのかセンターなのかとの質問があった。自校式の給食を想定し、施設設計を進めていると回答した。
- ランドセルや鞆、制服についてどのように考えているのかとの質問があった。費用がかかるものなので、保護者の皆様が心配される点であると認識しており、内容検討はこれからとなるが、なるべく早くお答えできるようにしていきたいと回答した。

#### 【学校規模、ユニット制、教育活動について】

- 学園全体として 3,600 名を想定している大規模な学校で、きめ細かな指導をどのように充実させるのかとの質問があった。浦和大里校舎と内容谷校舎にそれぞれ義務 1～4 年生の 700～800 名が通学し、沼影新校舎に義務 5～9 年生の 2,000 名が 3 つのユニットに分かれて通学し、日常生活を送ることで、適正な規模での教育活動を展開し、きめ細かな指導を実現していくと回答した。
- 校舎が分かれたり、5 つのユニットで生活したりするので異学年交流や学年交流は難しいのではないかと意見があった。教育活動に合わせて、校舎やユニットが違って交流する場面を設定していきたいと回答した。
- 小学校の卒業式は無くなるのかとの質問があった。義務教育学校では、入学は 1 年生、卒業は 9 年生となるため、6 年生修了時の「卒業式」は行わないが、代わりとなる節目の行事を実施することを検討しており、他の義務教育学校においても、そのような行事を実施している例があるので参考にすると回答した。
- これまで特別支援学級に通っていた子どもたちの教育環境はどうなるのかとの質問があった。さいたま市では、浦和中を除くすべての小・中学校で特別支援学級を設置しており、この武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校についても同様に設置すると回答した。

#### 【教職員・学校運営について】

- 「1人の校長のマネジメントによる学校運営」というのは、ということなのかとの質問があった。学園全体を1人の校長により学校運営することで、3つの校舎で分かれていても、1つの組織として9年間同じ理念のもと、一貫性のある教育活動が展開され、日常生活は、各ユニットに配置された副校長により運営されて、その総括を校長が行うことになるかと回答した。
- 職員会議はどのように行うのかとの質問があった。職員会議は様々な形で行うことを想定していると回答した。

#### 【建設工事や施設等について】

- 内谷中学校を小学生が使えるようにするために、どのような改修をするのかとの質問があった。内谷中学校に調査に入り、改修箇所について検討しており、具体的には、階段の両側に手すりを設置したり、手洗い場や理科室の実験机の高さを変えたりするなど、子どもたち目線で使い勝手のよい施設を整備していくと回答した。
- 今の時代に合わせた施設計画は、ぜひ子どもたちのためにも進めるべきだと思うが、どのような知見をベースに設計されているのかとの質問があった。文部科学省の「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告（令和4年3月）」を参考していると回答した。

#### 【プール、スケート場について】

- 屋外プールの代替はできないのか。スライダー等があるようなものを作る計画はあるのかとの質問があった。市内の5つのレジャープールについて老朽化が進んでいることもあるので、現在、レジャープールの在り方の検討を進めていると回答した。
- スケート場はどうなるのかとの質問があった。現在、レジャープールのあり方について検討中である。スケート場についても、大規模なレジャープールを整備する場合には、民間事業者の力も借りながら検討すると回答した。